



人と人のハートを大切にするハートフルグループ

平成30年9月15日発行

社会医療法人協和会 社会福祉法人大協会 連携広報誌



むつごろう

テンロク
106
号



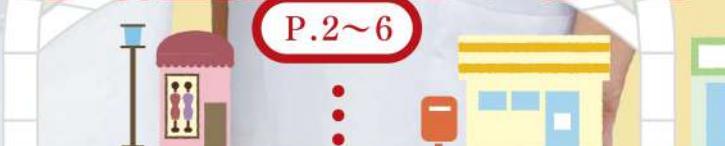
北大阪病院

P.7~10 発展する北大阪の地域医療を担う



テンロク
106号特別企画
天六で暮らす皆さまの健康を支える
加納総合病院と
地域包括ケアシステム

P.2~6



テンロク特集

● 天六と加納総合病院の変遷

● 患者さまのため。

● 地域の方々のため。

● 地域診療所のため。

（加納総合病院が考える地域包括ケアシステム）

2
4

5
6

もくじ

● 理事長メッセージ

1

特集

7
10

● 栄養科からのお知らせ
健やかな食生活を送りたい人に
「旬の食材で免疫力を高めよう
焼きさんまときのこの混ぜごはん」

● 社会医療法人協和会ニュース

11

医療安全管理室No.4

11

● 連携医療機関紹介

内科麻酔科 田上医院

12



ご自由にお持ち帰りください

理事長
メッセージ



地域密着型病院の範たれ

社会医療法人 協和会
理事長
加納総合病院院長

加納 繁照

当院が現大阪市北区の天神橋六丁目(天六)に開院して、丁度65年の月日を迎えた。現在グループは2病院、2診療所、1老人保健施設、2特別養護老人ホーム等々、ベッド総数661床、職員総数1000人近い規模に成長してきた。グループ内のサービスはまさしく医療から介護、在宅まで多岐にわたる内容を提供している。よく言われる「北大阪における医療福祉の複合体グループ」である。

その中心に位置するのが加納総合病院である。昭和28年8月に加納医院として先代の加納繁美が天六で開業。昭和32年に医療法人協和会として法人化し、加納病院となり、その後総合病院化し、特定、特別医療法人から大阪で最初の認可の社会医療法人になり、増床等を繰り返し現在に至っている。地域に密着し、地域社会に深く根差して育つてきたこれらの過程は多くの民間病院が辿ってきた道のりであり、当院も典型的な地域密着型の病院である。

地域に必要とされる医療とは、24時間3

65日救急対応も含め安心して受診でき、かつ医療レベルも最高のものを提供することだと考え実践してきた。例えば脳卒中においては血管内治療等も含め大阪市内では当院の成績は素晴らしい実績を残しております、また、骨折対応、内視鏡による消化管出

血の止血など、一般救急治療を含めハイレベルの対応ができるものと自信を持っている。

もう1つの特徴は、地区医師会の先生方との連携である。小生自身も地元医師会の会長を3期させていただき、当院のドクターは基本的に、地区医師会に全員入会している。当院が患者様に優しいケアミックス型病院であることもあり、救急、紹介等で緊急入院しても、急性期、回復期、場合によつては慢性期の入院治療を経た後、当院のドクターが退院に際し、直接地区の開業医の先生に全ての経過を申し送りできる。また再悪化時、急変時等も逆に担当していたドクターが直接受け入れすることができる体制になつていて。これぞ地域包括システムのまさしくあり方だと思う。小生自身も天六生まれ、地元の方に育てられ現在があり、今後も地元のために少しでもお役に立てればと考えている。





昭和28年頃

上空から見た
天神橋駅

当時の天六は、現在と同様に天神橋筋商店街の入り口であり、また天神橋筋六丁目の駅は、現在の阪急京都線・千里線の始発駅でもあったために、その頃から大いに賑わっていました。



天神橋駅のプラットホーム

出典:『渡辺節作品集』 波紋社 昭和7年発行

昭和
43
年昭和
32
年昭和
28
年創世記
加納医院

天六と加納総合病院の変遷



現在の場所、
大阪市大淀区
天神橋7丁目
5番26号に移転し、
病院を新築(130床)



医療法人
「協和会」設立

手術できる体制づくりを一番の目的とした組織変更。
以後、虫垂炎、分娩など多くの手術を手がけることになります。



前理事長 加納繁美が
大阪市大淀区天神橋6丁目
46(当時)において
加納医院開設

当時、加納医院の周辺は病院激戦区。
その中にあって加納医院は、地域の皆さんに人気のある医院でした。400人の外来患者さまが来られていたという伝説も。この場所には現在、北大阪クリニックが建てられています。

地上を走っていた阪急電車
が地下に潜ることになったため
に余儀なくされた移転。これ
を機に病院を新築し、以
後、現在の立地で病院の発展
を遂げていくことになります。

看護師寮「第一協和寮」
完成(収容人員33名)

昭和46年に創刊したむづごろうは、今号で106号を迎えます。
私たち加納総合病院がこうして病院運営を続けることができる
のは天六地域の皆さまの応援のおかげです。
そこで今号を106(テンロク)号と称し、特別企画をご用意しました。
私達を応援してくださった天六で暮らす皆さまとの大切な歴史を振り返り、そこから導きだした
加納総合病院が考える地域包括ケアシステムについてご紹介します。

Tenroku

Kano
General Hospital

総合加納
病院



平成5年

関西大学天六学舎

平成5年まで、関西大学第2部の学び舎があり、多くの優れた人材が、天六の地から輩出されました。

関西大学
天六学舎



昭和45年

天神橋駅のターミナルビル

天神橋駅のターミナルビルは昭和45年に改裝され、阪急天六ビルとして生まれ変わります。

天六ガス爆発事故



天六ガス爆発事故の最前線で負傷者の治療に取り組む

事故は4月8日夕方に発生。死傷者約500人という大惨事になりました。事故現場に近い加納病院はもっと多くの負傷者を収容。前年から始めた急性期医療への力を発揮しました。この悲しい事故を経験し、加納病院はさらに救急医療に力を注いでいくことになります。

平成
17
年

平成
15
年

昭和
45
年

昭和
44
年



総合加納病院・
北大阪病院
増改修計画スタート
総合加納病院
増築工事 着工

50周年記念事業の一環として
「新しい病院づくり」がスタート
しました。

(12月)ハートフルグループ創立50周年記念式典

いつしか時代は昭和から平成に変わっていました。開設から半世紀を経て、晴れて創立50周年を迎えた総合加納病院。感謝の気持ちを込めて、お世話になった方々や病院を支えてくださった職員の方々をお招きした華やかな記念式典を開催しました。

平成
7
年



阪神淡路大震災において
加納理事長が被災地に
医療支援を実施



昭和42年頃
賑わう商店街

加納
病院
発展期

救急告示病院
承認

いよいよ救急病院への道を歩み始めたのがこの年。24時間、365日の体制で地域を守っていく。その決意のもとで新たな体制が整えられています。加納病院の骨格が定まった年ともいえるでしょう。



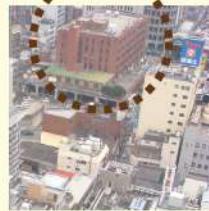


天六地域に関する資料は、関西大学 博物館事務室 年史編纂室の方々よりご提供いただきました。
暖かいご支援、ご協力、厚くお礼申し上げます。



平成25年
ジオタワー天六完成

超高層タワーマンションの完成で、天六の街はますます発展を遂げます。



平成22年
「阪急天六ビル」
解体工事着工



現在

関西大学天六キャンパス跡地
現在は記念碑が建っております。

**平成
30年**

旧館耐震
改修工事

有事に備え、さらなる安全性の向上を図ります。

(7月)
ハートフル
グループ創立
60周年記念式典

初夏に開催させていただいた記念式典。懐かしい方々、お世話になつてゐる方々と一緒に祝つていただき、ハートが温まり、また気持ちも新たに未来へ歩み始めるための素敵な機会にさせていただくことができました。



**平成
26年**

(1月)
大阪府下初の
「社会医療法人」
認定

社会医療法人とは、都道府県の医療計画に基づき特に地域で確保することが必要な救急医療などを担う、公益性の高い医療法人です。加納総合病院にとっては、さらに地域医療に貢献していくための大きな力となっていくことでしょう。



**平成
21年**

(10月) 加納総合病院を300床に増床
北大阪病院を77床に減床
(12月) 加納総合病院・北大阪病院の
増改修工事竣工

着工から2年後、旧館の隣接地に新病院が完成。地上8階、合計300床というスケールの新病院には、脳卒中センターをはじめ、内視鏡・循環器・消化器・健康管理の各センターを開設。また、世界初となるシースルーMRI室も開設されました。暗く、狭いという従来のMRI室に対し、ガラスの壁を通して灯籠を配した和風の庭が見える環境を創ることで患者さまの不安を軽減しようと考へたのです。病院名も「総合加納病院」から「加納総合病院」へと変更。第二のスタートといった新鮮な気持ちでまた元気に歩み始めました。



確立期
加納総合病院



患者さまのため。 地域の方々のため。 加納総合病院が考える地域包括ケアシステム



都心に近く、飲食店・商店・オフィスが凝縮された大阪らしい活気のある街・天六。この地に開院して約65年になります。石造りの重厚な外観は、地域社会の一員として皆さまに知つていただきつかけとなるよう、「街のシンボル」としてデザインしたものです。地域密着医療をテーマに、常に患者さまの立場を起点とした心温まる医療サービスを目指し、高度かつ最善の医療を提供する病院づくりを心掛けています。

日本人の平均寿命が伸び続け、団塊の世代の人たちも高齢者世代に突入した日本は、諸外国に例をみないスピードで高齢化が進んでいます。65歳以上の人口は現在3,000万人を超えており、それは国民の約4人に1人あたります。2042年には約3,900万人でピークを迎え、2050年には1人の若者が1人の高齢者を支えなければならないと予想されています。

こうした現状を受け、介護を必要とする状態になつても安心して生活が送れるよう、2000年に「介護保険制度」がスタートしました。しかし、医療介護負担は過度な状況となり、入院患者の増大→在院日数の短縮化→在宅復帰(退院)という構図ができ、退院後の行き場に困る高齢者とその家族が増えているのが実状です。一方、医療機関と連携して在宅復帰の調整を図れる介護事業者がまだ少なく、退院先が特別養護老人ホームや有料老人ホームなどになる



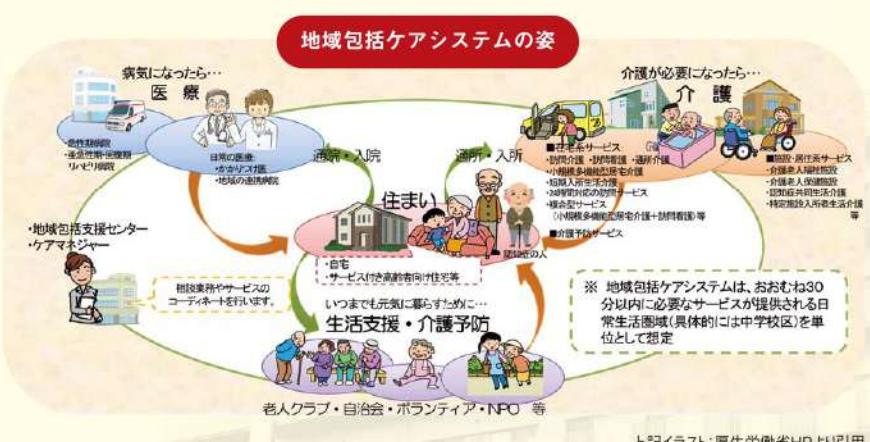
ケースも増大。自宅に帰れない高齢者はもちろん、その家族の経済的負担、介護現場の負担度を高めています。

このような状況を改善するために厚生労働省などが中心となつて取り組んでいるのが、「地域包括ケアシステム」の構築です。地域包括ケアシステムは、おおむね30分以内に必要なサービスが提供される日常生活圏域(具体的には中学校区)を単位として想定されています。団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となつても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されるようにと考えられているのです。

病院は機能によって「高度急性期」「急性期」「回復期」「慢性期」の4種類に分類されています。私たち加納総合病院は急性期受け入れから在宅に向かた「急性期病棟」「回復期リハビリテーション病棟」「療養型病棟」をバランスよく構成させた「ケアミック病院」として、全ての機能をひとつの病院で持ち備えています。急性期病棟の中には高度治療室(HCU)10床と脳卒中ケアユニット(SCU)3床を設置し、高度急性期のケアにも対応。目的にあつた入院治療を効率よく行うことができます。入院患者さまにとつても慌てて次の回復期等病院を探す必要がなく、かかりつけの医師に引き継ぐまで一人の主治医が担当することができ、再入院された際にもその医師が診療対応することが可能となります。まさに、患者さまのことを中心に考えた小回りの利く総合病院にしました。

昭和45年、当院近隣で発生した死傷者約500人の大惨事となつた六ガス爆発事故を経験し、特に救急医療には力を注いできました。24時間365日体制で対応する救急センターは年間約5000件の救急搬送を受け入れています。スピードと高い専門性が求められる脳卒中センターでは5名の専門医を中心にt-P.A静注療法のみならず最新鋭のアンギオ装置を導入し、最先端の脳血管内治療を実施、優れた診療実績を残しています。また、骨折に対応できる整形外科医の常駐をはじめ、緊急内視鏡検査ができる消化器病センター、透析センター、健康管理センター(人間ドック)、デイケアセンターなど幅広い機能を備え、増加する高齢者医療に対応できるようになっています。

地域包括ケアシステムを目指し、民間病院は今後どんどんこのようない状況ではないでしょうか。私は、平成27年より日本医療法人協会の会長を務めており、厚生労働省の会合などにも参加する立場として、日本の病院数は8割が民間病院です。特に大阪は救急医療も民間病院がその大半を受け入れているのが現状です。日本の医療は民間病院が支えているといつても過言ではありません。世界に類を見ない状況ではありませんが、天六のようないい立場として、地域社会に貢献する立場として、地域の皆さまの支えがあつてこそ、患者さまのため。地域の方々のため。地域の診療所のため。大阪の中心、北区のこの街になくてはならない存在として、「存在し続けることができる誇り」を胸に、これからも「医療」を通して地域貢献を行つてまいります。



上記イラスト: 厚生労働省HPより引用

2018年5月にラジオに出演しました!

youtubeにて
配信中

『谷敦の人・魅力、発見』
#65 ゲスト 加納総合病院
加納繁照院長



◀ 左記のQRコードから
番組を見ることが
できます。
ぜひご覧ください。



民間医療がしつかり評価されるよう発言してまいりました。

これからは在宅医療を深めていかないといけない時代です。中心となるのは地域診療所の先生方です。今後も地区医師会との絆を深めながら、地域医療のために最善な対策を見いだしていくたいと考えています。私たちが総合病院としてこれまで邁進してこられたのも地域の皆さまの支えがあつてこそ。患者さまのため。地域の方々のため。地域の診療所のため。大阪の中心、北区のこの街になくてはならない存在として、「存在し続けることができる誇り」を胸に、これからも「医療」を通して地域貢献を行つてまいります。

これからも地域のためにひたむきに、ひたむきに頑張ります。

発展する北大阪の 地域医療を担う



特集 北大阪病院

スペシャル対談

社会医療法人 協和会 北大阪病院
院長

社会医療法人 協和会 北大阪病院
院長補佐

藤尾陽一先生 × 安田守孝先生

Special Talk

Youichi Fujio M.D.,Ph.D. × Moritaka Yasuda M.D.,Ph.D.

住宅地として需要が高まる新大阪駅周辺地域の医療に貢献する北大阪病院。今回は、院長の藤尾陽一先生と、昨年秋に加納総合病院より赴任された院長補佐の安田守孝先生に、北大阪病院の展望についてお話を伺いました。

若年ファミリーと 高齢患者の二極化

はじめに院長の藤尾先生にお聞きします。北大阪病院の特徴についてお教えください。

藤尾院長.. 北大阪病院は1983（昭和58）年に、加納総合病院に次ぐ医療法人「協和会」二番目の病院として開設した地域密着型の病院です。風邪、腹痛、発熱、下痢、アレルギー症状など「common disease（コモン・ディジーズ）」と呼ばれる日常的に高頻度で起こる疾患の対応が中心になります。

当院が所在する新大阪駅周辺は、ここ数年新築マンションの建設が非常に多く、利便性の良い新興住宅地域として注目されています。そのため、居住層は長年住まわれている高齢者と、

しました。外来患者さんなど人の出入りが多い1階と2階は、室内が暗くならないように壁ではなく柱に鋼板を巻いて補強しています。安全性だけでなく、快適さも維持するよう心掛けました。まさか耐震工事直後に地震に遭うとは思つてもいなかつたので驚きましたが、建物に被害はなく、患者さんの混乱を招くこともありませんでしたので、安堵しています。



画面表示のある新しいエレベーター

マンションを購入されて新たに住み始めた若年層ファミリーの二分化が目立つようになります。自ずと来院される患者さんもご高齢者から小さなお子さんまで広範囲に及びます。

脳外科の観点から 認知症治療を考える

安田先生が昨年10月に赴任されたことで、北大阪病院はどうに変わりましたか？

藤尾院長.. 当院は77床の規模な病院で、これまでにはMRIを設置していました。安田先生が赴任されるのを機に導入し、脳神経外科の救急にも対応できるようになりました。安田先生が赴任された場合は対応でき、救急患者が認知症などを患つておられた場合は対応できないケースも多々ありました。安田先生が赴任されたことで心強いです。病院としての視野が広がったと実感しています。

安田先生.. ありがとうございます。そう言つていただけるとやりがいを感じます。



耐震補強して厚くした壁



病室最大 11m²の広々とした多床室

藤尾院長.. じつは、今春耐震工事を行つたばかりです。安全性を高めるため、耐震診断を行つたうえで建物の補強を実施しま

北大阪というと、先日の大阪北部地震の震源が近いと思いませんが、病院に影響はありませんでしたか？

藤尾院長.. じつは、今春耐震工事を行つたばかりです。安全性を高めるため、耐震診断を行つたうえで建物の補強を実施しま



私はこれまで加納総合病院で脳卒中（脳血管障害）を中心に行ってきました。赴任してばかりで近隣病院とのコミュニケーションもまだ密ではありませんが、脳神経外科の分野でお困りの患者さんがおられたらご相談いただくようにと近隣病院にはアナウンスしています。

安田先生は脳神経外科がご専門ですが、北大阪病院ではどのような医療展開をお考えですか？

安田先生…特に最近、私がいま一番力を入れているのは認知症やてんかんの治療です。

脳神経外科というと、超急性期脳梗塞やくも膜下出血、脳出血などの手術を伴うような治療を思い浮かべる人が多く、認知症やてんかんは脳神経外科の中でも注目されづらい疾患ですが、決して

患者数は少なくありません。脳神経外科の医師が認知症を診るというのは珍しいことではなく、事実、第一線で活躍してきた脳外科医がある程度の年齢に達して手術の執刀から離れた後に、認知症専門にシフトされるという話はよくあります。脳外科医の立場から認知症を診断するこ

とで治療が可能となつた症例も多く出てきています。

藤尾院長…近隣病院でも認知症の患者さんはたくさんおられます。主治医の先生方も北大阪

病院に相談できる専門医が居るということは心強いと思います。

MRIも導入しましたので、近隣病院にも活用していただき、連携を取りながら積極的に周辺地域のプライマリーケアに貢献できればと考えています。

安田先生…そうですね。その一環として、淀川区で認知症のサポート医を担当することになりました。これまでの知識や経験を北大阪病院でも活かしていくたいと思います。

安田先生…そうですね。その一環として、淀川区で認知症のサポート医を担当することになりました。これまでの知識や経験を北大阪病院でも活かしていくたいと思います。

グループ病院としての 連携を強化

安田先生が来られたことで、加納総合病院との連携も強まるのではないかでしょうか？

藤尾院長…そうですね。グループ病院ならではの信頼関係による連携で、タイムロスを極力なくした治療が可能になると考えていました。

安田先生…はい、北大阪病院でも高齢化に伴つて脳卒中の患

者さんが増えているので、小さな脳梗塞などのケースは、治療法としてのエビデンスレベルが高いt-PA（血栓溶解療法）を北大阪病院で行うようにし、中大脳動脈起始部や内頸動脈閉塞などを併発した場合は、次の施設で血栓回収をお願いするという「ドロップアンドシップ」の連携ができるようになると考えています。MRI検査を行い、t-PA治療を行なながら加納総合病院に搬送する。加納総合病院では連絡が入つたらすぐに血管撮影室を準備して、患者さんの到着後速やかに治療ができるようになります。ことで、タイムロスを防ぎます。

安田先生の認知症治療も大いに貢献しそうですね。

安田先生…認知症は研究が盛んに行われているにもかかわらず今でも原因不明・回復困難な病気ですが、認知症をきたす病気の中には適切に治療されれば回復できるものもあり、これらは「Treatable Dementia（治療できる認知症）」と呼ばれています。例えば、てんかんの症状には非痙攣性の発作があります。たとえば、てんかんの症状

プロフィール



社会医療法人 協和会 北大阪病院
院長 藤尾 陽一先生

[所属学会および認定]

- ・医学博士
- ・日本外科学会 認定医

外科 診察日(上記プロフィール掲載医師)

診療時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前 9:00～13:00	○	○	○	○	○	—
午後 14:00～17:00	急患のみ受付					
夜診 18:00～20:00	—	○ ※	—	—	—	—

※内科兼ねる



社会医療法人 協和会 北大阪病院
院長補佐 安田 守孝先生

[所属学会および認定]

- ・医学博士
- ・日本脳神経外科学会 専門医
- ・日本脳神経血管内治療学会 専門医
- ・日本脳卒中学会 専門医
- ・認知症サポート医

脳神経外科 診察日(上記プロフィール掲載医師)

診療時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日		
午前 9:00～13:00	○	○	○	—	—	不定期 (予約のみ)		
午後 14:00～17:00	急患 のみ受付	予約 のみ	急患のみ受付					

これが認知症に間違えられ、てんかん患者に抗認知症の薬を出すケースも少なくありません。そういう意味でも、前述したように、認知症もてんかんもしつかり理解した脳外科医が診断することで、隠れている認知症患者を見つけ出し、治療するのが私の役目だと思っています。北大阪病院の地域に根ざす医療に貢献できると考えています。

最後に、それぞれメッセージをお願いします。

安田先生…認知症は脳神経外科より精神科のイメージが強いようで、ご本人もご家族も最初に精神科を訪れるよりも脳神経外科を尋ねる方が気負わないというお話をよく耳にします。近年、脳神経外科学会の中に脳神経外科学会認知症学会という新しい学会ができ、私自身「日本認知症学会」にも参加しています。大半を神経科、精神科の先生が占めていて、脳外科の先生は5%程度の少数派ですが、北

藤尾院長…周辺の総合病院は、それぞれ在宅ケアを行っていたり、療養型の病床を設置したりなど、個々の特色を生かしています。北大阪病院でも他の病院との差別化を図るために、高齢化対策の一環として訪問リハビリをスタートさせました。まだこれからですが、地域診療所

と連携を図りながら進めていく
たいと思っています。
ありがとうございました。



今回導入したMRI

健やかな食生活を
送りたい人に

旬の食材で免疫力を高めよう

● 焼きさんまときのこの混ぜごはん

作り方

- ①きのこは食べやすい大きさに切る。
- ②フライパンにサラダ油を熱し、①を中火でじっくり焼き、Aに漬けておく。
- ③さんまは塩焼きにし、粗熱が取れたら骨をとり、ざつくりほぐす。
- ④米は洗いザルにあげて水気を切る。炊飯器の内釜に米、②(出汁も全部)、米に対応する目盛りまで水を加え普通に炊く。
- ⑤焼きあがったら③を加え、全体にさっくり混ぜて器に盛り、青ネギを散らす。

(焼きさんまときのこの混ぜごはん)2人前

・さんま	1 匹	・水	180ml	A
・塩	0.5g	・薄口しょうゆ	大1/2	
・きのこ	150g	・だしこんぶ		
・サラダ油	大1/2	3cm角1枚	
・米	1合	・青ネギ(小口切り)		適量

1人前の栄養価 エネルギー:485kcal 脂質:16.5g
タンパク質:16.3g 塩分:1.2g

作成 北大阪病院 栄養科 管理栄養士 乾 明日香



医療安全管理室

No.4

社会医療法人
協和会

協和会ニュース

KYOWAKAI NEWS

当院は、患者様と職員を守るために、
医療安全に取り組んでおります。

安全な医療のためにには患者様の
ご理解・ご協力が不可欠です。

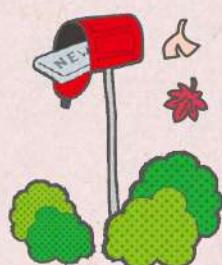
患者様・ご家族様にお願い

- 担当医をご確認ください。入院時は担当の医師と看護師をご確認ください。
- 「おかしいな」とか「わからない」と思つたら、何度も聞いてください。
- 説明を受けるときは、メモをとつてください。ご家族やご友人に一緒に聞いていただくことをおすすめします。
- ご高齢の方は、入院という環境の変化によって精神的に不安定になることがあります。お時間の許す限り、面会していただきますようお願いいたします。
- お薬やお食事を渡すとき、点滴や検査をするときにお名前を確認します。何度も名乗つていただくことがあります。患者様を間違えないためですので、ご協力ををお願いいたします。
- 病気やお薬、療養に関する不安や心配事など、なんでもお気軽にご相談いただきますようお願いいたします。

受付で事務員にお申しつけ
ください。

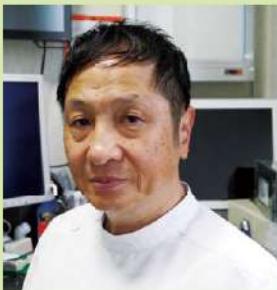
内容によって社会福祉士や
薬剤師、管理栄養士、
医療安全管理者などが
対応させていただきます。

相談窓口



内科 麻酔科

田上医院



院長 / 田上 大作

日本麻酔科学会専門医
麻酔科標榜医
日本医師会認定産業医
大阪市大淀医師会副会長

連携 医療機関紹介

加納総合病院では地域の医療機関との相互連携を密にし、最前の治療環境の実現を目指しています。

このコーナーでは、当院の登録医としてご協力いただいている先生方をご紹介します。

昔から、今も、将来も
「かかりつけ医」として

田上医院は、先代より天六の地で地域に密着した医療に携わってまいりました。私の幼少の時代は、準工業地域であったが、今では梅田に至近の商業・住宅地域として大きく変貌しました。当時は医者の少ない地域で、先代が自転車で往診に走り回っていたことを覚えていました。私は大学病院で麻酔科を専攻し、麻酔科医として勤務してきましたが、先代の姿を思い描き移り変わる街並みの中で地域に役立ちたいと考え、医院を引き継ぎ今日に至っています。

麻酔科医でしたので、医院は内科に加えて麻酔科を診療科も掲げて診療を行っています。私が「かかりつけ医」として大切なことは、患者様とよくお話ををする、ということだと考えています。長くお付き合いをしていました。年齢を重ねてくると、様々な要因から病気となりますが、時間をかけながらお話し

田上医院は、先代より天六の

地で地域に密着した医療に携わってまいりました。私の幼少の時代は、準工業地域であったが、今では梅田に至近の商業・住宅地域として大きく変貌しました。当時は医者の少ない地域で、先代が自転車で往診に走り回っていたことを覚えていました。私は大学病院で麻酔科を専攻し、麻酔科医として勤務してきましたが、先代の姿を思い描き移り変わる街並みの中で地域に役立ちたいと考え、医

院を引き継ぎ今日に至っています。私が所属しております大淀医師会は、この地域で長く診療を行ってきた先生方が多く、代々お付き合いが続いていることから固い信頼関係で医療連携を行う環境ができます。地味で、ひつそりと、慎ましい医院ではありますが、何でも相談できる医院として、しつかりとお話を聞き、丁寧に説明をさせていただいておりますので、健康についてお困りの時にはお気軽にご来院ください。



当院は専用駐車場はありません。

アクセス

(電車をご利用の方)

- 地下鉄堺筋線・天神橋筋六丁目駅 11番出口徒歩3分
- 地下鉄谷町線・天神橋筋六丁目駅 11番出口徒歩3分

(バスをご利用の方)

- 阪急線・天神橋筋六丁目駅 11番出口徒歩3分
- 天神橋筋六丁目停留所・徒歩3分
- 本庄中通停留所・徒歩5分

〒531-0074

大阪府大阪市北区本庄東1-1-18

TEL / 06-6371-1454

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~ 12:00	○	○	×	○	○	○
16:30~ 19:00	○	○	×	○	○	×

休診日 土曜の午後、水曜、日曜、祝祭日



各科診療医一覧表

加納総合病院

科	診療時間		月	火	水	木	金	土	
内 科	午前	1診	9:00~12:00	院長	久保田	酒井	原	中間	徳山・酒井
			12:00~12:45		酒井				
	2診	9:00~12:45	久保田	森脇	原	岸野	滋野	湯口・岩崎	
	3診	9:00~12:45		郡山	高嶋・笛川 ※糖尿病	中川(聖) ※糖尿病	高田		
	午後	14:00~16:45	村井	徳山※糖尿病	谷・中間	道野・中川(聖) ※糖尿病	久保田		
	夜診	18:00~19:45	谷	中間・森脇	原・高田	酒井・岸野	高嶋		
外 科	午前	9:00~12:45	矢野	OP	矢野	田中	矢野	交代	
	午後	14:00~16:45	向井	OP	矢野	矢野	矢野		
	夜診	18:00~19:45		向井・田中					
整形外科	午前	1診 9:00~12:00	納田	森本	岡吉	羽山	糟谷	平井	
	2診	糟谷	納田	下(予約)	下(予約)	平井			
	夜診	18:00~19:45	平井	糟谷	納田	羽山	下		
脳神経外科	午前	1診 9:30~12:00	中澤	OP	黒田	安田	中澤	今村・井上・董・ 董(交立) 黒田・米田 (予約)	
	2診					米田			
			谷浦	谷浦	谷浦	谷	谷		
循環器内科	午前	1診 9:00~12:00							
	2診								
	午後	14:00~16:30		坂田					
	夜診	18:00~19:45	谷						

科	診療時間		月	火	水	木	金	土
神経内科	午前	9:00~12:00						望月
	午後	14:00~16:45						長野
	夜診	18:00~19:45				小河・小川・池中		
形成外科	午前	9:00~11:30	中井	宇根	中井	宇根・中井 (予約)	宇根	
	午後	14:00~16:30	宇根	中井	中井	OP	宇根	
	夜診	14:00~15:00	中川(和)	前田	中川(和)	盛	中川(和)	中川(和)
眼 科	午前	9:00~11:00	中川(和)	検査	OP	検査	検査	
	午後	14:00~15:00	中川(和)					
	夜診	10:00~12:45	津田	津田		津田	津田	藤澤・鈴木
耳鼻咽喉科	午前	14:00~15:45	津田	津田		津田	津田	
	午後	14:30~16:30	坂元	坂元	坂元	坂元	坂元	
	夜診	9:00~11:45	坂元	坂元	坂元	坂元	坂元	
泌尿器科	午前	9:00~12:00		富永			富永	
	午後	13:00~16:00	谷口					
	夜診	9:00~11:30	堀江		堀江		堀江	
皮膚科	午前	9:00~12:00						
	午後	13:00~16:00	谷口					
婦人科	午前	9:00~11:30	堀江		堀江		堀江	
小児科	午前	9:00~11:45						井上(彰)

*詳しくはホームページを参照ください。

平成30年8月末時点

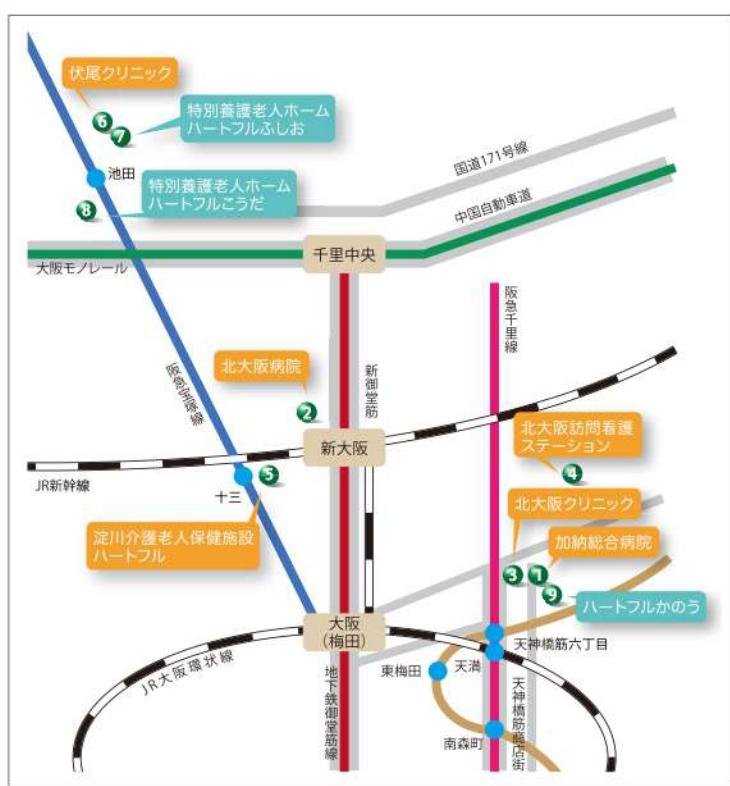
北大阪病院

科	診療時間		月	火	水	木	金	土
内 科	午前	9:00~13:00	中川	高嶋	扇谷	中川	谷浦	交代
	午後	14:00~17:00	杉原	中川	扇谷	大川	石井(秀)	
	夜診	18:00~20:00	足立	藤尾	石井(昭)	大川	中川	
外 科	午前	9:00~13:00	藤尾	藤尾	藤尾	藤尾	藤尾	斎藤(音数回) 杉谷(偶数回)
	午後	14:00~17:00						
	夜診	18:00~20:00		藤尾				
整形外科	午前	1診 9:00~13:00	目黒	岡村(奇数回) 橋本(偶数回)	目黒	安田(直)	目黒	高尾
	2診	平井	萩澤	佐柳				
	午後	14:00~17:00	下		下		下	

科	診療時間		月	火	水	木	金	土
脳神経外科	午前	9:00~13:00	安田(守)	安田(守)	安田(守)			佐藤
	午後	14:00~17:00						不定期
皮膚科	午後	15:30~16:30						高田
	午前	9:00~13:00	岡田			扇谷		乾
循環器科	午後	14:00~17:00	杉原		扇谷			
	午前	14:00~17:00				澤村		
泌尿器科	午前	9:00~13:00	○	○	○	○	○	○
	午後	18:00~20:00	○		○		○	
リハビリ	午前	9:00~13:00	○	○	○	○	○	○
	夜診	18:00~20:00	○		○		○	

*詳しくはホームページを参照ください。

平成30年8月末時点



社会医療法人 協和会

① 加納総合病院

〒531-0041 大阪市北区天神橋7-5-15 TEL.06-6351-5381(代)

② 北大阪病院

〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2-7-17 TEL.06-6395-1601(代)

③ 北大阪クリニック

〒531-0041 大阪市北区天神橋7-6-21 TEL.06-6351-2228(代)

④ 北大阪訪問看護ステーション

〒531-0063 大阪市北区長柄東3-3-10 フローラルハイツ協和2階 TEL.06-6357-7893

⑤ 淀川介護老人保健施設 ハートフル

〒532-0023 大阪市淀川区十三東5-3-29 TEL.06-6302-8686

⑥ 伏尾クリニック

〒563-0011 大阪府池田市伏尾町12-2 TEL.072-754-2838

社会福祉法人 大協会

⑦ 特別養護老人ホーム ハートフルふしお

〒563-0011 大阪府池田市伏尾町12-1 TEL.072-754-2901(代)

⑧ 特別養護老人ホーム ハートフルこうだ

〒563-0043 大阪府池田市神田2-6-7 TEL.072-750-0810(代)

⑨ ハートフルかのう

〒531-0062 大阪市北区長柄中1-1-21 TEL.06-6354-1108(代)

地域の皆様に感謝の気持ちを込めて編集させていただきました。
これからも、職員一同地道に頑張ってまいります。